

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 / 子育て 施策番号： 1-7 局・課名： 建設局道路整備課

事業名	橋りょう耐震強化事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額		
			2,513,777	2,859,000	2,696,800		
事業概要	<p>【目的】 本事業は、東日本大震災や熊本地震を教訓とし、今後、本市において想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震など大規模災害時に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えるために「命の道」となる、緊急交通路や津波避難路などに関する重要橋りょう150橋の耐震化を行い、災害に強いまちづくりを推進するものである。</p> <p>【内容】 今後想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震などの大規模災害に備え、次の橋りょう耐震3強化プログラムを推進し、平成32年度までに重要橋りょう150橋の耐震化完了を目指す。 ○緊急交通路等に架かる橋りょう耐震強化事業(対象135橋) ・緊急交通路や鉄道等に関係する橋りょうの耐震化【進捗:107橋/135橋→121橋/135橋】 ○大浜高架橋耐震強化事業(対象4橋) ・堺市で最も橋長の長い大浜高架橋(橋長約2km、橋脚65脚)の耐震化【進捗(延長ベース):48%→81%(2橋/4橋)】 ○津波避難路に架かる橋りょう耐震強化事業(対象11橋) ・大津波襲来に備え、市指定の津波避難路に架かる橋りょうの耐震化【進捗率:10橋/11橋→11橋/11橋】</p> <p>【今年度要求のポイント】 国土交通省は、緊急輸送ルート等の耐震化を今後5年間(H30年度まで)で重点投資することを盛り込んだ「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画」を平成26年4月に公表した。また、国の平成29年度予算においても、緊急交通路上の橋りょうの耐震強化を重点施策としている。そこで、平成29年度においてもこの重点投資期間を契機に捉え、市の財政負担を軽減するためにも、国費を最大限に活用し、さらなる事業の推進を図る。</p>	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
			H29 ~ H30	45,000			
			主な要求内容	(単位:千円)			
			項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等	
			工事	2,439,100	2,230,500	大浜高架橋、少林寺橋ほか13橋	
			委託(工事)	187,900	167,300	榎小橋、向陵橋、けやき小橋、昭代橋	
			(詳細設計業務)	93,000	49,000	第二今池橋ほか2橋	
			(遠里小野橋架替検討業務)	24,000	40,000	遠里小野橋	
			工事監理業務	45,000	60,000		
			負担金(工事)	70,000	150,000	吾彦大橋	
	合計	2,859,000	2,696,800				
	スケジュール(経過及び今後展開)						
	【経過(～28年度)】	【29年度】		【今後予定(30年度～)】			
	平成28年度末整備率78% (117橋/150橋)	工事予定数 21橋 完了予定数 17橋 整備率89%(134橋/150橋)		平成32年度に重要橋りょう150橋の耐震化完了を目指す。			
	その他 特記事項						
	みんなの審査会対象外 関連事業:橋りょう長寿命化修繕事業						

整理番号 : 19 - 1 - 0140